

令和元年度 学校自己評価

八代白百合学園高等学校

学校教育目標	<p>キリスト教精神に根ざした価値観を基礎として、国際社会・地域社会に奉仕できる女性の育成に実践的に取り組む。 校訓（従順・勤勉・愛徳）をベースに、文武両道（人間力アップと学力アップ）を目指す。</p>
今年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> 多様な生徒各々に応じた学力向上を図り、進学実績を向上させる（生徒の可能性を見極め一人ひとりが進路目標を達成できるようサポート） アウトプット力の養成（思考力・判断力・表現力を培う） 部活動・生徒会活動の振興、社会性とリーダーシップの養成（地域を連携した活動） 特別支援教育の充実（建学の精神を基盤にした、特別支援教育・共生教育の充実）

総括表

評価項目		評価の観点・目標	具体的な方策	評価	成果と課題
大項目	小項目				
学校経営	特色ある学校づくり	建学の精神の実践（カトリック精神に基づく教育の推進）	<ul style="list-style-type: none"> 朝礼・終礼での祈りを通して自己と向き合う 宗教的行事等への保護者の参加を呼びかける 	A	聖歌指導を通じて、祈りの心を育むことができた。また、様々な場面で校訓への理解を深める教育に取り組んだ。
		姉妹校との連携	<ul style="list-style-type: none"> 修学旅行時に白百合女子大学への訪問を行い、同じ建学の精神に学ぶ理解を深める 各姉妹校へのビデオレターでの交流 各姉妹校間の直接交流を図る 	B	大学訪問や、姉妹校交流等で生徒にも全国にある白百合学園が共通の建学の精神のもとに学んでいるという理解を深めている。今後生徒会同士での交流等も行うことでより深い連携ができるよう検討したい。また高大接続についても女子大とも連携しながら注力したい。
		コースの特色を生かした教育活動の展開	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな指導に取り組む 	A	生徒それぞれに寄り添った教育が実践できているが、高い目標での進路実現のため、コース編成についても検討する。
	開かれた学校づくり	情報公開	<ul style="list-style-type: none"> 学校HPの充実 学内の適切な情報発信 	A	HPリニューアルを行い、情報発信の充実を図ることができた。保護者への情報発信については広報誌だけではなく、メール配信を利用するなど、細かな情報提供ができるよう努める。
家庭との連携		<ul style="list-style-type: none"> 保護者会総会、定例会の充実を図る 保護者との連携強化 	A	保護者が積極的に学校と関わりを持つことができるような企画について保護者会と検討したい。また、行事等を通じて、保護者に本校の教育をより理解してもらえるようにする。	

学校経営	開かれた学校づくり	同窓会、後援会や地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> 12校園連絡会で地域学校との情報交換を積極的に行う 情報発信の充実 地域行事への同窓会との取り組み強化 地域との充実した連携 	A	地域貢献活動への参加を促し、地域の中での役割への気づきと意識の向上を図った。今後は活動での体験を共有化することで学校全体での意識向上につなげ、地域連携をさらに発展させたい。また、学校の存在そのものの周知だけではなく、学校が目指すものをアピールするために「しらゆり教室」活動を展開した。
学習指導	基礎学力の向上	個々の生徒の実態の把握による対応	<ul style="list-style-type: none"> 学力診断により生徒それぞれに対応した指導を行う 	A	マナトシを活用し学び直しを行うことで基礎学力の定着に努めた。また、学習意欲の喚起と学力定着のための習熟度に応じた編成による授業を一部教科で行った。
	学習習慣の確立	学習習慣の定着	<ul style="list-style-type: none"> 自律学習への構えをつくる 	B	家庭学習についての記録による実態把握により、生活リズムの構築と学習習慣確立に取り組んだ。
	教員の指導力向上	教科指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 研究授業による授業力向上 	B	教員間で授業内容を評価し、意見の交換を行っている。授業研究への組織的・継続的な取り組みを強化させることで教員の意識向上に努めたい。
進路指導	進路目標実現	進路意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> 進路ガイダンスの実施 大学模擬授業の実施 進路講演会の実施 面談の充実 	A	生徒の多様なニーズに対応するために外部講師等を活用したキャリア教育に取り組むことができた。進路実現にあたっては、生徒・保護者の進路希望を把握し、正確な進学情報を共有できる環境を構築することで、生徒だけでなく保護者へも必要な情報が提供できるようにしたい。
		インターンシップの活性化	<ul style="list-style-type: none"> インターンシップマッチングの強化 	A	2学年を対象に実施した。協力企業とのマッチングについては外部機関と連携することで多様な職種から選択できるようになった。今後は事前事後学習を充実させ進路意識の向上と意欲の喚起を図りたい。
生徒指導	生活指導	品格ある白百合生としてのマナー指導	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶、服装、時間の厳守等ルールとマナーが身につくよう整容指導の徹底 	A	日常生活の場面や行事等を通じ、生徒の自覚を促す指導を行った。推進担当教員により生徒だけでなく、教員も含めてのマナー意識の定着を図っている。
		交通安全教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 通学時の街頭指導を行う 交通安全指導での自転車交通講習 	B	街頭指導により、登下校時における学校周辺の通学ルート順守を徹底することで生徒の安全確保に努めた。通学指導については自転車通学だけでなくJR利用者のマナー啓発も行う。

生徒指導	安全安心な環境づくり	いじめの未然防止、早期発見、早期対応	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの実施 	A	アンケートだけではなく日頃の教員間での情報共有に取り組むことで未然防止に努めている。今後もいじめについては起こるかもしれないという意識を持ち注意を払うよう努める。
	特別支援教育	特別支援体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの有効活用及び関係機関との連携強化 個別の教育指導・支援計画の策定 ケース会議の充実 保護者との連携強化 	A	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携により、個別の指導・支援計画を充実させることが出来ている。個々の状況に応じて保護者との連携を促進し、必要に応じて外部機関とも連携しながら支援体制をさらに充実させたい。
特別活動	国際交流の推進	韓国姉妹校との交流 その他の国際交流	<ul style="list-style-type: none"> 年2回の交流を展開する 「総合的な学習」での韓国語講座の実施 	B	韓国姉妹校との交流については参加希望者数の増加を図りたい。また、後援会等を実施し国際理解を深め、グローバルな視野を育成する。
	ボランティア活動の推進	奉仕活動への理解を深める 心豊かな生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動への積極参加を促す 各種支援施設との交流 校内献金活動を通して他者への慈愛の精神の醸成 	A	地域活動としてボランティアに取り組むことができた。生徒がより自発的に行えるような環境づくりをすることで意義を学ぶ機会を充実させたい。
	インターアクトクラブ活動の推進	地域奉仕プロジェクトへの参加	<ul style="list-style-type: none"> 地域貢献の意義を学ぶ 	A	担当地域ロータリークラブの協力により、インターアクトクラブ活動を生徒会が中心となり取り組んでいる。さまざまな活動を体験することで社会奉仕の理解を深めることができています。これらの活動を全校生徒で共有し取組の幅を広げたい。
	部活動	部活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> 全国レベルの部活動への活動環境整備 部活動を通じての地域貢献活動 	A	各部とも大会等を通じて活躍することが出来ている。また地域に対しても卒業生による講習会や、ワークショップを行い、地域貢献や活動種目の普及にも努めることで生徒たちの心身の成長も図ることができた。

次年度への課題および改善点

生徒一人ひとりが、それぞれの分野で充実した学校生活となるよう、全教職員がチームとして生徒への共通理解や情報の共有に努め、組織としての教育力を向上させる。
 大学入試改革が刻々と変化している中、情報収集及び分析的確に行い、外部試験や講演会、学習会など実践的な取り組みを充実させる。また、コース編成についても、より生徒の進路実現に向けたものとなるよう改変について検討する。